



がん病態栄養専門管理栄養士プラネックス研修

がん病態栄養専門管理栄養士 プラネックス(臨床・実践)研修

**最短取得コース(20単位) 研修+受験
がん病態栄養専門管理栄養士認定資格**

※ 肝疾患病態栄養専門管理栄養士 合同開催

1. 日 時:

2026年2月26日(木)~2月27日(金)

1日目:10時~17時30分

2日目: 9時~15時00分 ※研修は12時55分終了

昼食後試験

2. 場 所:

テルモメディカルプラネックス

〒259-0151 神奈川県足柄上郡中井町井ノ口1900-1

TEL:0465-81-4111(代)

3. 対 象:

日本病態栄養学会員(募集60名)

※下記、1~3何れかの希望の方

尚、募集人数を超える場合は(1)の方が優先となります。

1)がん病態栄養専門管理栄養士認定資格取得 希望者

2)がん病態栄養専門管理栄養士受験・更新単位取得希望者

3)臨床診断・ICU・病棟・外来化学療法室における実践研修

希望者 ※研修のみ受講可 **臨床現場を再現した実地修練**
※ 白衣をご持参してください

4. 受講料:

35,000円(2日間) 昼食・資料代を含む

※受験希望の場合は別途受験費が必要となります。



問い合わせ先:一般社団法人日本病態栄養学会
〒160-0022 東京都新宿区新宿1丁目14-5 新宿KMビル 3階
電話番号: 03-5363-2361

がん病態栄養専門管理栄養士 プラネックス(臨床・実践)研修

1日目

C1+L1:呼吸・循環動態に関わる講義

全身管理: 血圧、血液ガス、酸素飽和度、心電図、脈、舌状態等

講師: 中屋 豊 先生(吉野川病院)

C2+L2:画像の読み方・がん治療に関わる講義

X線撮影(腫瘍・石灰化・肺炎・胸水貯留等)

X線CT装置, ストーマ

講師: 奥川 喜永 先生(三重大学医学部附属病院)

C2+L3:エコーの読み方

腹部エコー検査の診断

講師: 矢野 怜 先生(愛媛大学医学部附属病院)

C3:がん治療に関わる講義;レジメン・放射線療法・免疫療法等

問診(内容), 検査(レントゲン、血液、腫瘍マーカー), 診断

治療(手術・化学放射線療法・免疫療法), 管理上の注意点(説明)

問診(確認内容), 体重による化学療法のレジメン(投与量)の決定

化学療法による副作用の出現と対策, 骨髄抑制による貧血(見分け方)

外来化学療法室 外来化学療法室で実践, 症例カンファレンスの実際

講師: 犬飼 道雄 先生(岡山済生会総合病院)

C4:がん精査から診断・治療の決定

問診(内容)

検査(レントゲン、血液、腫瘍マーカー)

診断と治療(手術・化学放射線療法・免疫療法)

インフォームドコンセント(説明)

講師: 水野 英彰 先生(悦伝会目白第二病院)

E:GLIM基準(実践)

2日目

F-1:ICU(術後を中心として)ベツサイドで実践

管理上の注意点(説明), ICUモニターの診かた

酸素吸入, 尿量, 廃液(色・量による判定)

輸液ポンプの使い方等, 血糖等の管理

ICUから一般病棟への転棟基準

講師: 水野 英彰 先生(悦伝会目白第二病院)

F-2:経腸栄養剤投与の実践

経腸栄養ポンプ(音が鳴った時の対応)

胃婁・腸痙(チューブの種類と留置等)

膀胱バルーン

講師: 奥川 喜永 先生(三重大学医学部附属病院)

F-3:一般病棟 ベツサイドで実践

バイタル確認(血圧、SpO2、体温等)

フィジカルアセスメント(皮膚・口腔内の観察)

ストマの位置による便性状の違い

講師: 中屋 豊 先生(吉野川病院)

F-4:外来化学療法室 外来化学療法室で実践

管理上の注意点(説明)、問診(確認内容)

体重による化学療法のレジメン(投与量)の決定

化学療法による副作用の出現と対策, 骨髄抑制による貧血評価

症例カンファレンス

講師: 犬飼 道雄 先生(岡山済生会総合病院)

F-5:エコー検査・診断

肝の触診、脾の打診

腹部エコー、フィブロスキャン、エラストグラフィーによる肝硬度診断

脂肪減衰法による脂肪肝の程度診断

講師: 日浅 陽一 先生、矢野 怜 先生、行本 敦 先生
(愛媛大学医学部附属病院)

講評・アンケート 研修修了



臨床現場を再現した実地修練
※白衣をご持参してください

